



2024年  
5月



# としょかん 図書館だより



あさひしょうがっこうとしょかん  
旭小学校図書館

かんちょう さいじょう  
館長 西條かおり  
ししょ いでともこ  
司書 井出知子

5月になりましたね。4月には、とてもきれいにさいてくれた桜も季節がうつりすっかりちってしまいました。でも今は、目にもあざやかな緑の青葉がいっぱいです！そこで、今月の図書館だよりでは、本の表紙が緑色の本を集めてみましたよ！

つぎ ころ  
次のひまわり号 LIBRARY  
5月24日(金)



## 『ねこのおすし屋さん』 鈴木まもる 作・絵

いつも おすしが たべたい と おもっていた ねこたちの ところへ、おすしやさんが やってきました。マグロ、タコ、イクラ・・・ねこたちは、たべたかった おすし を おなか いっぱいたべました。ところが・・・よみおわると あなた も きっと おすしが たべ たくなるかも？



## 『パンダくん パンダくん なにみているの？』

エリック・カール・え ビル・マーチン・ぶん

この絵本に出てくる動物たちは、絶滅のおそれがある動物たちだそうです。一度絶滅してしまうと、もう二度とその動物たちのすがたをみることができなくなります。こんなにも美しい動物たちが、この地球からいなくなりませんように！



## 『ジオジオのかんむり』

きしたえりこ 岸田衿子・さく なかたにちよこ 中谷千代子・え

ライオンのなかでも一番強いライオンのジオジオ。だからみんなジオジオの姿を見るとかかれてしまいます。毎日ひとりぼっちでつまらないジオジオ。だれかとお話をしてみたいジオジオ。そんなある日、産んだたまごを全部失ってしまった一羽の小鳥と出会います。さて、ジオジオのとった行動とは？



## 『すばこ』

キム・ファン 文 イ・スンウォン・え

「すばこ」は、人が作った鳥の家です。でも最初は、鳥のひなをつかまえるための「わな」だったそうです。どのようにして「わな」から「鳥の家」になっていったのか。美しいノンフィクションの絵本です。



## 『虫ロボのぼうけん カブトムシに土座！？』 吉野 方理子・作 安部繭子・絵

小学4年生の森野志馬はゲームが大好きで、虫にはちっとも興味がない。ところが、最近いっしょに住むようになったおじいちゃんは元昆虫学者で、世界もおどろくような大発明をしていた！



## 『ことわざ生活 あっち篇』 絵・ヨシタケシンスケ 文・あかいわしゅうご

子をもって知る親心、遠くの親戚より近くの他人、あちら立てればこちらが立たず・・・。家族や友人、世間など、自分の周りがよく見えてくる、ことわざ&慣用句を紹介。